

生徒・保護者の学校評価アンケート まとめ

全27項目中、「よくあてはまる」と「ほぼあてはまる」の合計が80%以上という評価を受けたのは、生徒からは16項目であり、昨年度の19項目に対し下がった評価は、「先生は、生徒の悩みや相談を親身になって対応してくれる」「授業はわかりやすい」「定期考査前は試験勉強に取り組んでいる」「地域の方は、いろいろなことを教えてくれたり、注意をしてくれる」という項目でした。上がった評価は「学校は、校舎内外の環境整備に努めている」です。また、保護者の皆様から80%以上の評価をいただいた項目は19項目あり、「子どもは、定期考査前は試験勉強に取り組んでいる」が昨年より下がった項目でした。全体的に昨年度より高い評価をいただきましたことは、教職員一同とてもありがたいと思っておりますが、「家庭学習は毎日1時間以上」については、昨年度と比べ、生徒22ポイント、保護者14ポイントの減となっております。大きな課題となりました。協同的な学びの実践に取り組む中で、授業で学んだ内容をいかに家庭での学習に結びつけるか、今後、検討して参ります。

昨年度、「学校行事は充実」の項目で、生徒からは89%の高評価でしたが、今年度は95%という、さらに高い評価となりました。3年生を中心に躍動した体育祭、全クラスで演劇に取り組んだ慈眼祭、夏井いつき先生を迎えての句会ライブ、県下の学校関係者が多数訪れた授業研究会など、生徒にとっても自己肯定感や達成感を強く感じる機会多かったと思います。短い準備期間にもかかわらず、計画的に準備し、意欲的に活動に取り組む生徒の姿が数多く見られました。さらに、自分達が楽しむだけではなく、見ている人達も楽しませるといふ生徒の気持ちも伝わったかと思えます。これらの行事が、生徒中心に成功裏に終了いたしましたことは、生徒達にとっても大きな自信になったことと思えます。今後も生徒が主役の行事づくりに努めて参りますとともに、陰で支えて下さった保護者・PTA・同窓会、そして地域の皆様に改めて感謝申し上げます。また、「平戸高校に入学して良かった」という生徒評価も、昨年を引き続き上昇しています。生徒数の少ない学校だからこそ実践できる教育活動を検討し、さらに生徒の充足感が増すよう取り組んで参ります。

逆に、今年度の評価で大きな課題となったのは「家庭学習への取組」と「挨拶や生活態度などへの意識」です。家庭学習につきましては先に記したとおりですが、特に今年度は携帯電話の校内持込許可制度を導入しました。学校でのルールは概ね守られており、特に問題はありますが、今後は家庭での使用状況の改善にも目を向けて、ルール作り等の指導をして参ります。家庭での学習時間をきちんと確保できるよう生徒に考えさせる必要もあろうかと思えます。また、挨拶や容儀等の生活指導に関しましても、生徒指導部を中心に、再度、指導内容を見直し、新年度へ向けて引き締めを図って参りたいと思えます。真面目に規則を守っている生徒が悲しい思いをしないですむよう、日頃からの生徒への指導を徹底したいと思えます。

全体的に見ますと「よくあてはまる」の評価がまだまだ低い項目も多くあります。社会に有為な生徒育成のため、今後も「地域に根ざし道を拓く」学校づくりに努めて参りますので、本校の教育活動に対し引き続き、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。